



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

第 144 回 生物科学フロンティアセミナー
第 55 回 ケミカルバイオロジー研究所セミナー

肺胞マクロファージを中心とした 肺疾患の病態解明と治療戦略への展開

阪本 考司 先生

名古屋大学 医学部附属病院 呼吸器内科 病院講師

日時：令和 7 年 1 月 7 日（火）午後 3 時より
場所：中百舌鳥キャンパス A12 棟（サイエンスホール）

事前参加申し込みは不要です。
会場まで直接お越しください。



肺は呼吸を介して常に外界と交通を持つ臓器である。肺胞マクロファージは肺における見張り番であり、肺の恒常性を維持するのみならず、外敵を撃退し、肺の炎症を制御するなどの機能も司っている。急性の肺傷害の際、肺胞マクロファージは最終的にホメオスタシスを回復させるために、炎症の開始と終息を指揮する中心的な役割を演じているため、治療的介入の魅力的な標的ともなる。本セミナーでは、外的環境、及び、内的環境の変化に呼応して、肺胞マクロファージの反応が形成する肺の病態について、我々physician-scientistの研究グループが研究展開する、動物、及び、細胞モデル、さらには臨床サンプル解析による肺疾患の病態解明と、新たな治療標的の発見に繋げる取り組みについて紹介する。

世話人・連絡先：中瀬生彦、藤原大佑、道上雅孝
（大阪公立大学 大学院理学研究科 生物化学専攻）
大阪公立大学 研究推進機構 ケミカルバイオロジー研究所
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1
TEL: 072-254-9895/ e-mail: i-nakase@omu.ac.jp